

## 議事要旨

件 名	令和7年度第1回品川区入札監視等委員会		
日 時	令和7年8月22日（金）14時00分 ～15時30分	場 所	品川区役所本庁舎6階 経理課入札室
出席委員	渡邊委員長（学識経験者）・飯野委員（学識経験者）・斉藤委員（学識経験者）		
内 容	<p><b>第1部 委員委嘱等（非公開）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委嘱状伝達</li> <li>2. 委員紹介</li> <li>3. 委員長の選挙 ⇒委員の選挙により、渡邊委員（学識経験者）が委員長を務めることとなった。</li> <li>4. 品川区における契約事務の概要について ⇒事務局より説明</li> </ol> <p><b>第2部 審議等【議事】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札監視等委員会において審議する案件の決定方法について ⇒委員会に先立ち事務局から半年分の契約一覧を委員に送付し、委員が指定した案件について委員会で審議を行う方法を採用</li> <li>2. 令和7年度における審議スケジュールについて ⇒事務局より説明</li> <li>3. その他質疑</li> </ol>		
主な意見等	<p>○紙入札は行っていないという理解で差し支えないか。 ⇒全ての案件を電子入札にて行っている。</p> <p>○品川区で行っている一般競争入札は、すべて制限付き一般競争入札になっているのか？ ⇒そのとおりである。</p> <p>○物価の高騰などにより昨今の入札では不落が多いと聞くが区はどのような状況か。 ⇒委託や物品では予算編成の際や入札の前に参考として業者から見積書を徴取し、予定価格が実態に即しているかを確認しているほか、工事では最新の</p>		

	<p>単価を使って積算をして発注する等の不調対策を行っており、近年の入札の多くは落札いただいている状況である。</p> <p>○特定事業者との随意契約が意外と多いと感じるが？ ⇒システム関連等の保守や改修契約が多い。また、機械警備の警報器の設置後の運用契約など1年度ごとの契約では不経済である契約も含まれている。</p> <p>○委任契約や準委任契約などは、品川区ではどう集計されているのか。 ⇒自治体の契約では、工事、委託（役務）、物品（物件）の3区分で集計することが多い。 委任契約等は、品川区では「委託契約」として集計している。</p> <p>○予定価格の公表をしているが、最低制限価格も機械的に算出できるような仕組みになっているのか？ ⇒一定範囲であることは示しているが、具体的な算定方式は非公表である。</p> <p>○品川区で行っている総合評価方式の2種類の違いは？プロポーザル方式との違いは？ ⇒区で施工能力等審査型総合評価と称している方式は、地方自治法上の総合評価一般競争入札の条件に合致しているものであり、簡易型総合評価と称している方式は、これらの条件を満たしておらず随意契約として実施しているものである。 プロポーザル方式は随意契約として行っているが、事業者からの提案を受けて仕様を決定していく方式である点で、総合評価方式と性質が異なっている。</p>
そ の 他	<p>10月上旬に事務局から各委員に令和7年度上半期分の契約実績一覧を送付し、各委員が第2回品川区入札監視等委員会にて審議する案件を決定する。</p>